

# データログ

データログによって装用者であるお客様の使用状況を確認することができます。それは補聴器の使い方や装用効果についてお客様にお話しする場面で有効であり、フォローアップの微調整やトラブルシューティングに役立てることもできます。Inspireの左側ナビゲーションバーから**データログ**にアクセスします。さまざまな環境での補聴器の使用状況が記録された具体的なデータが画面に表示されます。Inspireは、補聴器が接続されると、自動的にデータログを読み込みます。

データログ:  On  Off データログのオン/オフが選択できます。

- デフォルトはオンになっています。データログのオン/オフ切り替えはInspire上でも、Thriveアプリでも行えます。データログをオフにすると、Thriveアプリのブレインスコアをトラッキングする機能は働かなくなります。
- データログがオフの状態、データログがオンで行われたセッションのデータを読み込むと、補聴器のデータログ設定はオンになります。これは、読み込まれたセッションがデータログのオン/オフを決定するためです。
- 「ベストフィット」や「リセット」を行うと、データログはデフォルトのオンになります。
- データログをオフからオンに切り替えた時には、画面にデータは表示されません。データはデータログがオンになった時点から記録され始めるからです。

データログをリセット データログはいつでもリセットできます。

データログ:  On  Off  
データログ期間:  
2019/02/28 - 2019/04/29  
データ範囲は、補聴器からデータが記録された期間を表示します。

右  両耳  左  
右側、左側、両耳のデータ表示を選択します。

すべて 1 2 3 4  
特定のメモリーのデータを見る時にメモリー番号を選択します。

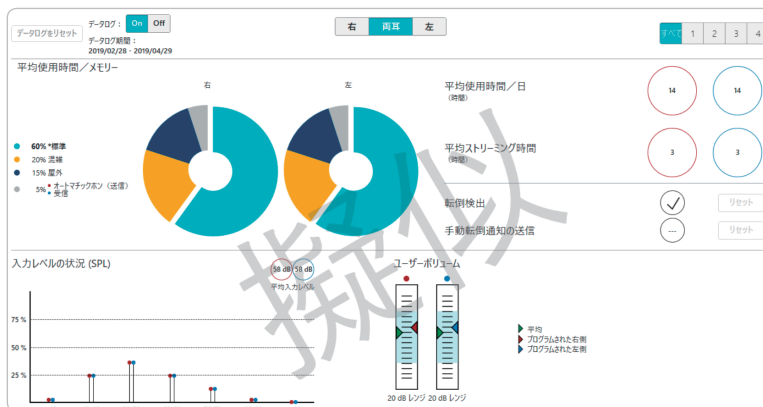
## 2通りのデータログ表示

### サマリー表示

すべてのメモリーの累積データが表示されます。ここでは、メモリー毎の使用時間、1日の平均使用時間、平均ストリーミング時間、入力レベルの状況、ユーザーボリュームが含まれます。

#### 転倒検出通知

転倒が自動的に検出されたり、手動で転倒通知を送信した時にはチェックマークが表示されます。この機能はそれぞれのリセットボタンでリセットできますが、データログそのものは消すことができません。更に詳細な情報は、Thriveアプリの転倒通知の設定画面から表示して管理することができます。



### 環境アナライザー

音の分類別に、使用時間がパーセントで表示されます。風切音の使用時間、メモリー毎に使用された補聴器の指向性モードの割合、音の分類別に適用されたゲイン平均値が表示されます。

各チャンネルの平均ゲイン適用量も確認できます。

「印刷」から「データログレポート」を選択すると、装用者のデータログの概要を印刷することができます。チェックボックスを選択して、適用ゲインのデータを付け加えることもできます。

